

**グループ全体で胎児治療を推進し周産期医療の充実を**

以前は救命できなかった小児の疾患も胎児治療で救える

③分娩早期退院制度をスタート(大和)  
 ③日本血管内治療学会総会 ③日本医療社会事業学会で発表 ④茅ヶ崎でベシックコースを開催(TMAT)  
 ④新院長紹介(大垣) ④徳洲会グループ総務部門研修会 ⑤諦めない心臓治療 ⑤新たな生命の誕生とともに  
 ⑥地球をめぐる医療 ⑥介護の素朴なギモン ⑥五百字寄席「火焰太鼓」  
 ⑦医療と健康の300年 ⑦ユズくん  
 ⑦読者から ⑦島百景 ⑧ワイドアンクル〜「涼感寝具」で快適な睡眠を

# 徳洲新聞

www.tokushukai.jp

No. 780 6月27日 月曜日

発行：一般社団法人徳洲会  
 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-6-8ダイニチ麹町ビル  
 TEL:03-3263-8131  
 制作：徳洲新聞編集室  
 〒102-0081 東京都千代田区四番町8-14-3F  
 TEL:03-3512-2766 FAX:03-3512-2768

## 大規模医療情報データベース事業 徳洲会グループも参加へ

医薬品などの安全施策を推進するため、厚生労働省は2011年から3年間で電子カルテなどのデータを活用した医療情報データベースの構築を進める。5月26日には、公募していた協力医療機関の選定結果が公表され、徳洲会グループも名を連ねた。



徳洲会グループの医療情報の標準化を進める尾崎社長

対策につなげるのが目標で、3カ年の計画。厚生労働省、PMDA(医薬品医療機器総合機構)、協力医療機関の3者で進める。2011年度予算で7億4000万円が確保されている。

現在、医薬品による副作用症例は、発生した個々のケースが別々に報告されているのみで、集団を対象とした疫学的なデータではない。医薬品を投与した母数がわからないため、副作用の発生率も把握できない。また原疾患に起因するものか、副作用なのかも特定しにくい。これらの問題を解決し、疫学的分析を行うのが「医療情報データベース基盤整備事業」の目的。

事業では、協力医療機関ごとに電子カルテ、オーダーリング(検査・処方など)に関する情報伝達システム)、レセプト(診療報酬請求明細書)、検

査データなどの情報を連結可能な形で匿名化して、医薬品評価に必要なデータベースを構築する。臨床での患者さんの症状をどのように標準化していくかなど課題も多い。PMDAは疫学的調査・分析のためのプロトコル(規定)を作成、

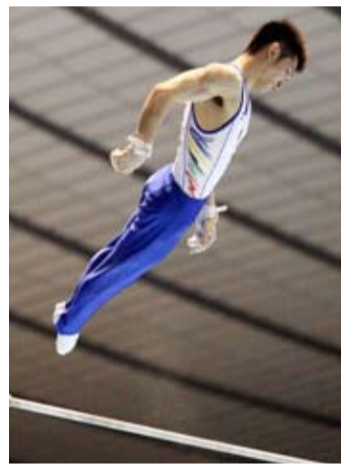
### 7大病院・3グループでスタート

今回、4月25日締め切りの公募には、16病院と4つのグループが応募し、東北大学病院、千葉大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、浜松医科大学医学部附属病院、香川大学医学部附

属病院、九州大学病院、佐賀大学医学部附属病院の7大病院と、北里大学の7大学病院と、北里大学・北里研究所附属病院、NIT病院グループ、徳洲会グループの3グループが選出された。

徳洲会グループは09年11月から、徳洲会インフォメーションシステム株式会社(TIS)が中心となつてグループの医療情報の標準化を進めてきた。同社の尾崎勝彦社長は「この事業で、国が臨床データを含めた医療情報をもとに標準化していくのかの方針が示される予定。」

## 第50回NHK杯 田中が総合2位で日本代表入り



田中の鉄棒での離れ技

今NHK杯は、4月に開催された「第65回全日本体操競技選手権大会」の個人総合2位の田中が、2日間の合計得点(2日間)の2分の1を持ち点として競技を開始。個人総合3位までが自動的に「第43回世界体操競技選手権大会」および「体操JAPAN CUP 2011」(共に東京開催)の日本代表に選ばれる。

6月11〜12日に開催された「第50回NHK杯」(東京・代々木第一体育館)。出場予定だった徳洲会体操クラブの水島寿思キャプテンは、左上腕二頭筋の部分断裂により欠場。代わって補欠の中瀬卓也がエントリーし、桑原俊、田中和仁、渡邊恭一、寺尾尚之、亀山耕平の計6選手が試合に臨んだ。

総合2位に入賞。36位でスタートした中瀬も1日目終了時点で10位、2日目に9位まで追い上げる健闘を見せた。そのほかの選手の成績は桑原が15位、亀山が24位、寺尾が27位、渡邊が28位だった。

競技を終え、徳洲会体操クラブの立花泰則監督は次のように話す。「田中は2日目、本当に辛抱して演技していました。大きな失敗になりました。大きな失敗を中程度のミスに収めるなど、我慢に我慢を重ねて最後の鉄棒までやりきりました。代表としての活躍を期待しています。」

9月の社会人大会は、日本代表4人を擁するコ

### 生命だけは平等だ 徳田理事長の1週間 (6月4〜12日)

- 4日 13時 アンゴラ共和国・ガンボア協力長官(夫妻、ミランガ氏)来室。
  - 4日 13時半 東北・関東資材部会より26名来室。幹部会議。
  - 5日 12時半 大垣徳洲会病院・稲邊副院長、翁長氏来室。
  - 5日 13時 全国放射線部会より63名来室。
  - 7日 11時半 茅ヶ崎徳洲会総合病院・亀井院長、湘南鎌倉総合病院・小林副院長、大竹腎臓内科部長、越澤徳美社長来室。
  - 8日 15時 南相馬市・桜井勝延市長ら52名、山田正彦前農林水産大臣、阿部知子代議士、能宗専務、横倉局長来室。
  - 9日 15時 東京徳洲会病院・佐野副院長来室。
  - 9日 17時半 茅ヶ崎駅前クリニック・田村泰院長来室。
  - 10日 10時 青木理氏、週刊ポスト・榎原氏、能宗専務来室。
  - 10日 12時 湘南鎌倉総合病院・齋藤滋副院長、山中太先生来室。
  - 11日 14時 泉州奄美会・十屋義行会長ら7名、岸和田徳洲会病院・植嶋事務部長、浦山次長来室。幹部会議。
  - 12日 10時 千葉西総台白病院・三角院長ら6名、伊藤喜三郎建築研究所・原勇次社長ら2名、清水建設・宮崎隆光専務ら8名、東京本部・坂上次長来室。
  - 12時 藤本多美先生来室。
  - 12時半 大垣徳洲会病院透析センター顧問・野口亨秀先生、稲邊副院長、翁長氏来室。
  - 13時 中規模病院・総務・経理・資材部会より63名来室。
  - 19時半 鈴木専務、能宗専務、池田顧問、徳田美千代理事、アーサー氏来室。
- 今週は南相馬市より桜井市長の来室を、200名以上と面談されました。

### 菅総理の辞任は？ 新国会通信

菅総理の辞任は？ ほんの少し前まで、国会内では「菅総理の辞任はいつ？」が挨拶代わりでした。最近ではそれが「国会延長は何日だろう？」に変化。徳田たけし代議士も「どうなっているのか」といぶかしく語ります。

そもそも総理大臣の身分は法律で守られており、身分剥奪は「不信任案可決」以外にありません。民主党代議士会での総理の言葉に惑わされて信念を曲げ、自民党などが共同で衆院に提出した不信任案を否決しておきながら、今さら「辞めろ」と菅総理が不信任案否決を、錦の御旗に、また一事不再議(一度議決・決定した事柄については再度審議することと否定される)とする原則)を盾に辞任拒否をするのは当然です。たけし代議士は「被災者支援のブレーキにだけはなつてほしくない」と話しています。(M)



鹿児島県腎臓病患者連絡協議会から腎疾患対策早期確立の請願を受ける徳田代議士